

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 049	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 植栽前の育苗方法等が耐潮性に及ぼす影響	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 海岸線を多くもつ神奈川県は植栽には耐潮性は重要な要素である。各樹木の耐潮性においては神奈川県技術センターや東京都農林総合研究センターにおける最新事例もあり参考としている。耐潮性を有するとされている樹種であっても、植栽（堀上げ）時期、樹齢及び育苗方法（根巻苗、ポット苗）により植栽後の活着状況に大きな差が生じることが経験則として知られているが、影響の程度や適正な方法については明確ではない。そこで、植栽前の育苗方法等が耐潮性に及ぼす影響について研究を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 観賞樹の効率的な栽培技術の開発 海岸線付近の植栽に適した有望樹種の検索（平26～平30）		
対応の内容等	植木類の耐潮性については、これまでに簡易な評価方法で、61樹種・品種について検討し、強～弱の分類を行い情報提供しています。 育苗方法等が耐潮性に及ぼす影響については、適正な養水分、温度管理で栽培されたコンディションの良い樹体を、根部を傷めずに掘り上げて、適期に定植すれば、活着状況も良好となると考えられます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			